

「Fukuoka Art Next」今月のアート（7月）

福岡市は、彩りにあふれたアートのまちを目指して、暮らしのなかで身近にアートに触れる機会を増やし、アーティストの成長支援に取り組む「Fukuoka Art Next」を推進します。

市民がアートを身近に感じられるよう、福岡で活躍しているアーティストの作品を、月初めの定例会見において紹介します。

■ アーティストについて

maruu（まるう）

1967年東京都生まれ、福岡市在住。玉川大学文学部芸術学科卒業。2001年より福岡市を拠点に活動。四季折々の風景や身近な動植物をアクリル絵の具や色鉛筆、墨などで繊細に描く。生きとし生けるものの日々の営みを描くことで、命の本質や神秘性を解き明かそうとしている。2021年「Fukuoka Wall Art Project」入賞。

■ 作品について



作家名 : maruu
作品名 : 蓮の音
制作年 : 2020年
材質技法 : アクリル キャンバス
サイズ : 53.0×72.7 (cm)

太陽の光をうけて金色に輝く水面に、蓮がリズムカルに広がっています。作者は、キラキラした水面に咲く蓮の喜びの音が、あたかも聞こえてきそうなイメージ造りをめざし、「蓮の音」というタイトルをつけました。黄金の背景のなか咲く蓮は神々しく、祈りをささげたくなる作品です。

【お問い合わせ先】

経済観光文化局美術館学芸課 担当：ラワンチャイクン、後藤

TEL：714-6054 FAX：714-6145 E-mail：rawan@fukuoka-art-museum.jp